

保護者の皆様

豊能町立光風台小学校

校長 内野 慎也

令和3年度 学校教育自己診断アンケート集計結果と考察結果について

1. はじめに

残寒の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、昨年11月に実施いたしました「令和3年度学校教育自己診断」の集計結果と本校の考察結果をお知らせいたします。

なお、この結果について「学校協議会」でのご意見を踏まえまして、「学校関係者評価」として、3月末ごろ学校のホームページにて報告させていただきますので、併せてご覧いただければ幸いです。今回のアンケート集計結果や学校関係者評価でいただきましたご意見につきましては、今後の学校運営に活かすよう努めてまいりたいと存じます。ご協力いただき誠にありがとうございました。

2. 「学校教育自己診断」結果について

○児童、保護者のみなさんともに、集計の見方 「A・B・C・D」の4段階での回答。「肯定的意見」A：よくあてはまる、B：ややあてはまる（※質問22は先生の割合）をパーセント（%）（小数点切り捨て）で表しました。

○児童アンケート項目

- 1 学校生活は楽しい
- 2 授業は分かりやすい
- 3 授業は楽しい
- 4 英語活動は楽しい
- 5 道徳の授業ではよく考えている
- 6 少人数、交換授業などの学習はよい方法である（3年生以上回答）
- 7 授業で自分の考えを発表することがある
- 8 あなたの学級では、間違っことを発言したときからかわれることがある
- 9 授業中に勉強以外のことで、友達とおしゃべりすることがある
- 10 学級では、自分の気持ちを聞いてもらえる
- 11 運動会などの学校行事は楽しい
- 12 児童会行事や活動は楽しい
- 13 地域の人との活動は楽しい
- 14 学校で本を読んだり、本を借りたりすることは楽しい
- 15 先生は、きまりや約束ごとを守ってくれる
- 16 先生は、自分が努力したことを認めてくれる
- 17 学校には、気楽に相談できる先生がいる

- 18 先生は、いじめや体罰がないクラスづくりに取り組んでいる
- 19 学級で自分を大切にすることや、他人への思いやりについて考えることがある
- 20 おうちの人は、学校での様子を聞いてくれる
- 21 時々不安に感じたり、悩んだりすることがある
- 22 不安やなやみがあるときに身の回りに相談できる人がいる
相談できる人 (①担任 ②その他の先生 ③友達 ④家族) (いくつ答えてもよい)
- 23 私は人の話を聞くようにしている
- 24 私は家庭学習をがんばっている
- 25 私は言葉づかいに気をつけている
- 26 私はきまりや約束ごとを守っている
- 27 私は家や学校であいさつをしている

(児童アンケート肯定的意見【3年間の経年比較】)

児童	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
R3	81	91	77	68	89	91	73	12	30	84	91	86	88	86
R2	90	92	75	74	87	87	74	22	32	81	87	78	72	90
R1	77	77	69	59	85	80	74	18	36	82	89	84	75	81
児童	15	16	17	18	19	20	21	22 ①②	23	24	25	26	27	
R3	91	92	77	92	90	90	71	39	94	88	79	87	85	
R2	96	95	78	96	93	87	62	37	89	82	65	84	82	
R1	88	87	69	91	84	88	64	33	89	88	68	81	65	

○保護者アンケート項目

- 1 子どもは学校生活が楽しいと言っている
- 2 子どもは授業が分かりやすいと言っている
- 3 子どもは学校の英語活動に興味を持っている
- 4 子どもは道徳の授業でよく考えていると思う
- 5 子どもは落ち着いて話をしっかり聞くことができる
- 6 先生は子どものことについて相談にのってくれる
- 7 先生は子どもを理解してくれている
- 8 学校は少人数授業・コース別授業・交換授業等、指導の方法を工夫している (※:3年生以上)
- 9 通知表は子どもの学力や学校での様子を適切に評価できるように工夫されている
- 10 学校では教育活動を通して心の教育(人権教育)が尊重されている
- 11 地域の方々の協力を得て学校教育を進めていることに共感できる
- 12 学校は保護者・地域の声を教育に活かそうと努めている
- 13 学校はいじめや体罰のない学校づくりの取り組みを推進している
- 14 学校は保護者が授業を参観する機会を適切に設けている
- 15 学校は地震や台風など緊急の場合、適切に対応している
- 16 学校の施設・設備は学習環境面・生活環境面で満足できる
- 17 学校が保護者に出す文書・事務連絡等は適切である

- 18 学校は学校便り・学年通信・学級通信・メール・ホームページ等学校の情報を積極的に伝えている
- 19 家庭では子どもに基本的な生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん）がつくように努めている
- 20 家庭では毎日あいさつや言葉遣いなど礼儀について子どもと話す機会を持っている
- 21 家庭では学校のことについて子どもと話す機会をもっている

(保護者アンケート肯定的意見【3年間の経年比較】)

保護者	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
R3	90	87	61	85	83	89	91	94	75	83	90
R2	90	89	69	87	82	90	93	85	80	88	92
R1	93	87	68	85	79	92	90	86	85	90	95
保護者	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
R3	86	84	89	95	66	88	90	90	92	95	
R2	89	90	89	91	60	90	90	90	92	95	
R1	89	89	98	97	60	92	90	94	96	97	

○保護者の自由記述ご意見（一部）と学校の考えについて

・ZOOMによる参観授業について

⇒「学校での参観が難しい中、積極的に取り入れて実施していただき感謝しております。ただ、参加者の中にはミュートになっておらず声が漏れていた方もおり説明不足だと思います。」等のご意見をいただきました。ZOOM参観授業については、今後も保護者の方々に学校教育活動の一端が伝わるような参観授業の1つの方法として、活用していきたいと考えております。事前の説明はもちろんの事、テスト配信にご参加いただき操作確認いただけるよう、呼びかけていきたいと思っております。

・運動会、学習発表会などの学校行事について

⇒「コロナ禍の中でも中止にするのではなく、工夫して実施していただき有難く思っています。」「運動会はこのまま午前中が有難いです。PTAの負担も減っていいと思います。」「学習発表会の観覧はもう少し工夫していただければよかったです。」等のご意見をいただきました。運動会は2年ぶりの実施。みなさんのおかげで無事終了することができました。来年度も今年度の実施方法を参考に考えていきたいと思っております。学習発表会は、準備期間が短い中でしたが、子どもたちは力を発揮してくれたと思います。会場運営につきましては、室内でコロナ対策最優先の対応を取らせていただきました。いただいたご意見をもとに、今後に生かしてまいりたいと存じます。

・保護者・地域との連携について

⇒「地域の方の協力を得て、学校活動がなされているのはありがたいと思っているが、地域の方に頼りすぎて保護者よりも負担が大きいのではないかと懸念している。」等のご意見をいただきました。学校は「地域とともにある学校づくり」を推進してまいります。教員の役割を学習指導ならびに生活指導に注力できる体制を整え、保護者や地域の方々に無理のない範囲で、それぞれの得意分野を生かして、学校に関わっていただけるシステムをつくってまいりたいと考えております。

○考察結果について

◎学校生活や授業づくり（児童項目 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8 保護者項目 1, 2, 3, 4, 8）

「学校生活が楽しい」児童 81%、保護者 90%となっています。特に児童の割合が昨年と比べて減少しています（「授業は楽しい」77%と増加）。一方で「間違っことを発言したときからかわれることがある（児童）」12%と減少。また「少人数指導・交換授業」については、児童 91%、保護者 94%と増加しており、児童に合った学習指導がたいへん効果的であったと考えております。今後とも教職員一丸となって、学校生活が楽しく、子どもたちが学びたい授業づくりをめざしていききたいと思います。

◎生徒指導、児童への対応（児童項目 15, 16, 17, 18 保護者項目 5, 6, 7, 13）

「子どもは落ち着いて話をしっかり聞くことができる（保護者）」89%と増加。一方で「いじめや体罰がないクラスづくりに取り組んでいる」児童 92%、保護者 84%とともに昨年と比べて減少しています。今後さらに学校全体での取組みを保護者の方々に発信し、保護者のみなさんと密に連携しながら、「いじめや体罰を許さない取組み」を充実させていきます。また、相談対応や子ども理解についても教員のスキルアップを図っていききたいと思います。

◎保護者・地域との連携、家庭での様子（児童項目 13, 20, 24, 25, 27 保護者項目 12, 15, 19, 20, 21）

「私は言葉遣いに気をつけている（児童）」79%、「私は家や学校であいさつをしている（児童）」85%と昨年から増加し、学校と保護者が連携しての指導が成果として表れていると考えています。今後も「あいさつや言葉遣い」の大切さについてお話いただければ幸いです。また、「学校は保護者・地域の声を教育に活かそうと努めている（保護者）」86%とやや減少しています。コロナ禍でも保護者や地域の声を聴かせていただき、学校運営に活かせるようより一層努めてまいります。

◎学校行事や学校からの情報発信（児童項目 11, 12 保護者項目 9, 14, 17, 18）

「運動会などの学校行事は楽しい（児童）」91%、「児童会行事や活動は楽しい（児童）」86%ともに昨年から増加しました。今年度はコロナ禍の中、学校行事等を「できることをできる範囲で」行った結果であると思います。また「学校は保護者が授業を参観する機会を適切に設けている（保護者）」89%、「学校は学校便り・学年通信・学級通信・メール・ホームページ等学校の情報を積極的に伝えている」90%と昨年と同様の割合となりました。今後さらに参観の機会の工夫、学校の情報発信を積極的にお伝えしていきたいと思ひます。

◎学校環境やその他の教育活動（児童項目 10, 14, 18, 19, 21, 22 保護者項目 10, 13, 16）

「学級では自分の気持ちを聞いてもらえる（児童）」84%と増加。一方で「心の教育（人権教育）が尊重されている（保護者）」83%との肯定的意見が減少しています。「不安や悩みがあるときに身の回りに相談できる人がいる（児童）」39%（先生の割合）と先生に相談できる割合は増加していますが、「時々不安を感じたり、悩んだりすることがある（児童）」71%と割合が増加しています。また、「いじめや体罰のない学校づくりの取組みを推進している」については、児童も保護者もやや減少しています。コロナ禍ではありますが、学校の取組みをホームページ等でもお知らせし、保護者の方々と一緒に「心の教育」が推進できる環境をつくっていききたいと思います。また、「学校で本を読んだり、本を借りたりすることは楽しい」の肯定的意見が86%と昨年よりはやや減少しましたが、高い割合となっています。今後とも読書に親しめる環境づくりに取り組んでいききたいと思います。

以上、ご報告いたします。ご協力いただき誠にありがとうございました。